

平成27年度第7回 障がい当事者支援プロジェクト 会議録

日時：平成27年10月28日（水）13:30～16:00

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー14名、見学1名、事務局3名

1. 前回（9月）話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回の内容が説明されました。

・前回は、「障がいのあるなしに関係なくお互いのことを理解する」ことを

目的に、自分とは違う障がいのある人のことについて話し合いました。

・来年から始まる障害者差別解消法をうけて、三重県の職員に守ってほし

いルールについて話し合いました。

2. 今回の内容

・今回は、メンバーの中から、岡野麻美さんが自己紹介をしました（岡野さ

んからお名前を記録に残すことを了解いただきましたので、そのまま記録に

出していきます）。

・来年から始まる障害者差別解消法にむけた三重県のしくみについて

話し合いました。

おかの じ こしょうかい
岡野さんの自己紹介

わたし さい こうはんせいはいったつしょう い わ れ ま し た
・ 私は20歳をすぎてから、広汎性発達障がいと言われました。

しごと
・ 仕事をしてもうまくいきませんでした。

しょうがっこう ちゅうがっこう こうこう ひと にがて がくせいじだい
・ 小学校、中学校、高校と人づきあいが苦手でした。学生時代にははじめ
もありました。

にがて とくい でこぼこ
・ 苦手なことと、得意なことがデコボコではっきりしています。

しょうがっこう3ねんせい りか さんすう けいさん
・ 小学校3年生ごろから理科や算数がわからなくなりました。計算など

かんがえる にがて こくご しゃかい おんがく えいご おぼえる
考えることが苦手です。そのかわり、国語や社会や音楽や英語といった覚える
ことは得意で、高得点でした。

ふあん かかえながらがっこう いって
・ いつも不安を抱えながら学校に行っていました。

しゅうだんせいかつ にがて いま しょう なかま
・ 集団生活が苦手です。今でもとまどうことがあります。障がいのある仲間の

あんしんかん さいきん しゃかいさんか
ところでは安心感があります。最近ようやく社会参加ができるようになって
きました。

かよいやすい さんか かよいくい いけません
・ 通いやすいところには参加できますが、通いにくいところには行けません。

きまりきったかた
決まりきった型にはめられることがきゆうくつについていけません。

わたくし ほか ひと おなじ かぞく
・ 私 はなぜ他の人と同じことをしなければならないのかわかりません。家族

あいだ がっこうせいかつ かんじる じぶん
の間や学校生活でもそのように感じるがありました。自分のやりたいこ

とをやりたくて、こうこう とき じんけん さーくる つくって がくせいだいひょう
とをやりたくて、高校の時には人権のサークルを作って、学生代表として

はっぴょう
発表していました。

- ・私^{わたくし}は人権^{じんけん}や福祉^{ふくし}のことにとても興味^{きょうみ}があります。
- ・「あたりまえ」とか「ふつう」ということが私^{わたし}にはよくわかりません。でも日本^{にほん}ではそういったこと^{ちゆうい}で注意^{おおい}されることが多いです。
- ・私^{わたくし}の外国人^{がいこくじん}の知り合い^{しりあい}は親切^{しんせつ}です。私^{わたし}は地元^{じもと}の国際^{こくさい}交流^{こうりゆう}にも参加^{さんか}しています。ホームステイ^{ほーむすてい}を受け入れ^{うけいれ}たり、父親^{ちちおや}の仕事^{しごと}で一緒^{いっしょ}に外国^{がいこく}に行^いったりしています。海外^{かいがい}では自分^{じぶん}らしくのびのびとすごせます。日本^{にほん}でも一人^{ひとり}一人^{ひとり}の個性^{こせい}が大切^{たいせつ}にされるとよいと思います。日本^{にほん}では生活^{せいかつ}がしづらいと感^{かん}じます。
- ・今^{いま}は自閉症^{じへいしょう}の仲間^{なかま}が通^かう施設^{せつせつ}に行^いっています。市内^{しんない}では唯一^{ゆい}居心地^{いこち}の良いところ^{ところ}です。

質問^{しつもん}、意見^{いけん}交換^{こうかん}

- (質問) 外国^{がいこく}には、「発達障^{はったつしょう}がい」はありますか？岡野^{おかの}さんの話^{はなし}を聞^きいて、
- 外国^{がいこく}は日本^{にほん}と少し違^{ちが}うのかなと思^{おも}いました。
- ⇒私^{わたし}が知^しっていること^{こと}をお話^{おはなし}します。外国^{がいこく}は日本^{にほん}と少し違^{ちが}うと思^{おも}います。
- ⇒私^{わたし}は、ハワイ^{はわい}の大き^{おお}きな施設^{せつせつ}に仲間^{なかま}の様^{よう}子^すを見学^{けんがく}にいったことがあります。
- その時^{とき}には発達障^{はったつしょう}がいという言^{こと}葉^ばはアメリ^あリカ^{りか}にはないという説^{せつ}明^{めい}を
- 聞^ききました。アメリ^あリカ^{りか}では、だれでも個^こ性^{せい}はあ^あるし、苦^{にが}手^てなこ^ことも得^{とく}意^いなこ
- とがあ^ある、苦^{にが}手^てなこ^こがあ^あればサポ^さー^とト^とをしま^ます、とい^いう考^{かん}え^え方^{かた}だそ^そうです。
- ⇒それ^{それ}から、私^{わたくし}が、父^{ちち}の工^し事^{ごと}で一緒^{いっしょ}に付^ついてい^いく発^は展^{てん}途^と上^{じやう}国^{こく}では福^ふ祉^しとい

うものじたいがまだありません。ネパールやインドネシア、フィリピン、タイ
といった国では、お金や生活に十分な余裕がなくて、福祉のサポートがまだ
不十分です。そこでは、着るもの、食べるもの、住むところがあればじゅう
ぶんという人が多いです。そういった国でも発達障がいということばは
聞いたことはありません。一人一人がばらばらで違うことがあたり前です。
周りのことを気にせず、みんなが自由です。現地の人と話をする、「だれ
でもそういうところがあるよ」、「どこに障がいがあるの？私たちよりもしっ
かりしているよ」、と言われます。

(質問) ここで話せるだけでよいので、いじめられた時のことを教えてください。
さい。

⇒私の地域では小学校から中学校卒業まで同じ子どもがずっと一緒でし
た。そこで、私はずっとみんなから避けられていました。なぐられたり、け
られたり、汗くさいと言われたりしました。体育の時に運動場で石をぶつけ
られたり、トイレで水をかけられたりもしました。かみの毛を切られたこと
もありました。かなりひどいいじめがありました。同和対策の授業はありま
したが、いじめのことは学校で対応してくれなくて私は警察に相談していま
した。でも、警察官や先生がいないときに、いじめられました。毎日、暴力
をうけて、気持ちが悪かったです。

⇒学校の授業もついていけなくて、テストも0点しかとれないことがよくありました。成績が悪かったので、それではかにされることも多かったです。

学校や教育委員会にも相談に行っていましたが、その時はあまり対応してくれませんでした。

(質問) そんなひどい状況なのにずっと学校に行った理由はありますか。

⇒ずる休みをしたこともありますが、親が心配して、学校だけはまじめに行って欲しいと願っていたので、まじめに行こうと思いました。教室ではいじめられるので、保健室にいることも多かったです。

(質問) 「あたりまえ」や「ふつう」のことで注意されることがあるということですが、例えばどんなことですか。

⇒例えば、学生の中から、先生が「ふつうに」説明していることが自分にはわからずついていけませんでしたが、働いていたときも、上司が仕事の説明をしてくれても結局なんのことかわからず、悩んだり、不安になったりしました。

⇒「これはこのようにしてください」という説明で他の人にはわかるかもしれないけど、私にはどのように作業したらよいのかわかりませんでした。

私にあわせて、具体的に一つ一つていねいに説明してくれればわかります。

⇒家でも知らないことを家族に聞くと「それは常識だから、よそで聞くとばかにされるよ」と注意されることがあります。

(質問) 家族の人から常識だよと注意されることって例えばどんなことですか。

⇒たくさんあります。例えば、自分の障がいのことを知らない人にそのまま全部話してしまうことです。家族からブレーキをかけられます。家族のことをそのまま話してしまつて注意されることもあります。人にだまされやすいので注意するようによともいわれます。いい人悪い人関係なくしゃべりかけてしまいます。全部うちあけてしまいます。相手との距離感を置くことが苦手です。言つてはいけないことをべらべらとしゃべってしまうことがあるようです。

(質問) 20歳で「発達障がい」と診断されたということですが、それまでになにかおかしいなと感じたことはありますか。それは何歳のときですか。

⇒学生のころから、どうして自分だけまわりについていけないのかなあと思っていました。他の人と全く違う、でも自分は自分だ、と思いながら生活していました。

⇒中学校の時には、自分にはもしかして障がいがあるのかもしれないと気づいていました。でも、個性の一つとして受け入れていくしかないと思っていました。私が学生のころはまだ発達障がいの支援がなくて、それでいじめられたのだと思います。小学校に入学できるかというテストは受けましたが、なんとか大丈夫ということで地元の小学校に通うことになり

ました。高校は、ぎりぎりで入学することができました。

(質問) 学生のころ、友だちはいましたか。

⇒学生のころは友だちがいなくて、ちょっとさみしかったです。理解してくれる人がいなくて、ひとりぼっちでした。

(質問) 岡野さんにとっては障がいとは個性だと思えますか。

⇒私は、発達障がいを障がいだと思っていません。自分の個性や自分自身の価値観やこだわりの一つだと思って生活しています。

(質問) クラブ活動はしていましたか。

⇒中学校の頃は吹奏楽部で、打楽器を担当していました。その影響で今でも音楽が大好きです。高校のときは、人権活動のサークルを作っていました。

障がいしゃさべつかいしょうほう 三重県 三重県のとりにくみについて

〇県の担当者から、三重県のとりにくみについて説明がありました。

・平成28年4月から障がいしゃさべつかいしょうほう という新しい法律がスタートします。

・この法律では、市や県の職員が、障がいのある人に差別をしてはいけないということと、それぞれの人に合った形でお手伝いをするように決められています。

・まずは、三重県の職員が守るルールを作っています。12月完成予定です

が、^{あと}後から^{ひつよう}必要があれば^{なおして}直していきます。^{しまちしよくいんむけ}市町職員向けのルールづくりも

^{はじまって}始まっています。

・^{けんちよう}県庁に^{こまった}困ったことがあった^{とき}時の^{そうだんまどぐち}相談窓口^{つくります}を作ります。

・^{ちらし}チラシや^{しんぶん}新聞、^{こうほうし}広報誌などで^{さべつかいしょうほう}差別解消法の^{ひと}ことを^{ぴーあーる}いろいろな人にPRします。

・^{ひと}いろいろな人が^{あつまってはなしあい}集まって話し合いをして、^{こまった}困ったことを^{かいけつ}解決する^{しくみ}を^{つくります}作ります。

・^{いっばん}一般の^{じぎょうしゃ}事業者もこの^{ほうりつ}法律を守るように^{まもる}ルールを^{るー}作ったり、^{つくったり}説明会を^{せつめいかい}したりします。

・^{しょう}障がい者^{しゃさべつかいしょう}差別解消^{わーくしょっぷ}ワークショップや^{しょう}障がい者^{しゃさべつかいしょう}差別解消^{ふおーらむ}フォーラムを

^{ひらいて}開いて、^{ひと}いろいろな人たちから^{いけん}意見をもらいます。

・^{がつ}1月からは^{けん}県の^{しよくいんむけ}職員向けの^{せつめいかい}説明会^{ひらきます}を開きます。

○^{けん}県の^{たんとうしゃ}担当者から^{しよくいん}三重県の職員^{まもる}が^{せつめい}守るルールについて^{せつめい}説明がありました。

・^{いまかんがえて}今考えている^{あん}きまりの^{しりょう}案は資料のとおりです。

・^{ぜんかい}前回のこの^{ぶろじえくと}プロジェクトで^{いけん}でた意見^{てなおし}をもとに手直ししました。

^{いけんこうかん}意見交換

(^{いけん}意見) ^{しょう}障がいについての^{かんがえかた}考え方について^{おしえて}教えてください。^{ぜんはん}前半の^{いけん}意見

^{こうかん}交換では^{しょう}障がいは^{こせい}個性だと^{おもう}思うという^{はなし}話^{しりた}だったけど、^{たい}もっと知りた

⇒ (^{けんたんとうしゃ}県担当者) そのことは^{みえけんしよくいんむけ}三重県職員向けの^{るー}ルールにも^{すこしかいて}少し書いてあります

が、誰が見てもわかりやすい書き方にして、皆が勉強できるようにした方がよいかもかもしれません。

(意見) 三重県職員向けルールに、差別になるかどうかの考え方が書いてありますが、説明不足だと思います。

(意見) 一般の事業者に対する県の立場や対応についても書いたほうがよいと思います。

(意見) 対応の例として、「わかりやすく」とか「ていねいに」と書いてありますが、具体的にどうしたらよいのかも書いたほうがよいと思います。個別のいろんな場面での対応も具体的な例があったほうがよいと思います。

(意見) 三重県職員向けルールの「わかりやすいばん」があると良いと思います。例えば、障がい者雇用で働いている職員の人にもわかってもらうものを作るべきだと思います。

⇒ (県担当者) 説明会用にわかりやすい資料を作っていきたいと思います。

(意見) 今日、電車で来るときに、連絡してあったのに車いすのスロープが準備されていませんでした。きまりを作っても守られなければ意味がないのできちんと守ってほしいです。

(意見) 差別の問題は福祉だけでは解決しないので、人権センターとか福祉とはちがう分野に相談窓口を置いたほうがよいと思います。

⇒ (県担当者) 差別への対応や相談については、一旦、県庁の障がい福祉課

で聞いてから、関係する係に引きつぐことを考えています。

その他

(見学者の意見) 今日(きょう)は親子(おやこさんか)で参加(きょう)させてもらいました。今日(きょう)の話(はなし)しあわれたことはとても良い(よい)内容(ないよう)でしたが、少し(すこ)難しい(むずかしい)と思いました(おもいました)。知的障(ちてきしょう)がいがある人(ひと)にとっては、伝え方(つたえかた)や言葉(ことば)を本人(ほんにん)たちにわかりやすい(くふう)ように工夫(くふう)してもらえ(もら)るともっと良い(よい)と思います(おもいます)。意見(いけん)が言いやす(いいやす)くなるように、もう少し(すこ)工夫(くふう)をお願いします(おねがい)。

(メンバーからの案内) 障(しょう)がいのある仲間(なかま)同士(どうし)でソフトバレー(そふとばれー)をしているの(の)で、興味(きょうみ)のある人(ひと)は一緒(いっしょ)にやりましよう。

3. これからの内容(ないよう)について

・障(しょう)がい者(しゃ)差別(さべつ)解消(かいしょう)ワークショッ(わーくしょっぷ)プが11月(がつ)11日(にち)(水(すい)) 13:30からあります。会場(かいじょう)は三重県(みえけん)津(つ)庁(ちやう)舎(しゃ)6階(かい)です。障(しょう)がい者(しゃ)差別(さべつ)解消(かいしょう)フォーラム(ふ)が12月(がつ)13日(にち)(日(にち)) 13:00からあります。会場(かいじょう)は三重県(みえけん)庁(ちやう)講(こう)堂(どう)です。興味(きょうみ)のある人(ひと)は参加(さんか)してください。

・次回(じかい) (第(だい)8回(かい)) のプロジェクト(ぷろじえくと)は、12月(がつ)8日(にち)(火(か)) 13:30からです。

・(メンバー) 次回(じかい) に話し合(はなしあ)いたいこと(こと)で提(てい)案(あん)があります(あります)。それは、ぐるーぷほーむ(ぐるーぷほーむ)をつくる(つくる)いま(いま)、ぐるーぷほーむ(ぐるーぷほーむ)のす

ぐとなり^{ひるま}に^{しせつ}か^{つくって}よう^{けん}施設を作^つては^いけ^ない^こと^にな^って^いま^す。県^{けん}の

つう^ち通知^{ほうりつ}で^こう^のよ^うに^なっ^てい^ます^が法^{ほう}律^{りつ}の^こう^のよ^うな^{こうそくりよく}拘^こ束^そ力^{りよく}は^あり^ませ^ん。

ぐ^るー^ぶほ^ーむ^のと^なり^の方^が作^つり^やす^いし^{じぎょうしょ}事^{けいえい}業^所を^けい^{えい}営^しや^すい^ので、

お^なじ^のと^ころ^に作^つけ^るよ^うに^して^ほし^いい^うき^{ぼう}希^も望^もあ^るよ^うで^す。で^も、私^{わたし}

た^ちは^す住^むと^ころ^とひ^るま^にす^ごす^とこ^ろが^おな^じと^ころ^にあ^ると

ぐ^るー^ぶほ^ーむ^にゆ^うし^よし^{せつ}入^所施^か設^のよ^うに^なっ^てい^く可^か能^の性^うが^ある^ので^はな^いか

と^{しんぱい}心^{ばい}配^{して}い^ます。こ^のぷ^ろじ^えく^とプ^ロジ^ェク^トで、み^なさ^んの^いけ^ん意^も見^きたい^と

おも^いま^す思^いま^す。

・(め^んば^ーわ^たし^は、す^む住^とこ^ろと^おし^ごと^をす^ると^ころ^はべ^つべ^つ別^々に^あっ^た方^がほ^う

よ^いお^もい^ます[。]良^いと^おも^いま^す。

・(め^んば^ーち^かく^にあ^った^方が^あん^しん^とい^うひ^と人^もい^るか^もし^れな^いの^で、そ^つち^よく[。]率^直

な^いけ^ん意^見を^いろ^いろ^きい^て聞^いて^みた^いで^す。

⇒^じか^ん時^間が^なく^なっ^たの^で、^じか^い次^回に^つづ^けて^いけ^ん意^見を^だし^あう^こと^にな^りま^した[。]